

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク
第15回 会員総会

議案資料

2018年6月27日（水）

（15：00～16：30）

町田商工会議所 2階 会議室3

・議 案・

第1号議案 2017年度事業実績報告書（案）…1～10頁

第2号議案 2017年度決算報告書（案）…11～18頁

第3号議案 第4期役員体制（案）…19頁

第4号議案 定款の一部変更（案）…20頁

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

2017年度町田市介護人材開発センター事業実績報告書（案）

1 総括

2017年度は、町田市介護人材開発センター（以下、センター）事業が7年を過ぎ、各種連絡会等の関わりもさらに多くなった。また、町田市からの受託事業も多くなり、町田市の介護保険関係事業の要になれるように進めてきた。町田市からの期待も感じ取り、センターとしての役割を認識しながら事業の実施に取り組んだ。

センターの認知度の向上を図るため、研修や連絡会、関係団体の情報等をホームページ、メールで提供し、フェイスブック等のSNSの活用、「まちカフェ」への参加を通して、市民及び関係者等への啓蒙・周知に取り組んだ。

会員事業所数も3月末時点で369事業所となり、昨年の同時期に比べ約5事業所増加となり、約71%から73%の入会率となった。会員数を増やしていけるセンターの役割を考えていく必要がある。

財源の安定に向けては、既存の受託事業を増やすことや、介護人材バンクの安定した経営を目指して実施していくことが今後も継続して必要である。

個別の事業については、計画書の事業番号に添って下記に報告する。

(1) 人材確保事業

- 01 ハローワーク町田との共同面接会を継続し、雇用機会を維持する取り組みを実施した。年11回実施、168名の求職者が参加され28名が就労に至った。しかしながら、昨年度と比較すると参加者数は約20名の減、就労者数も4名の減となった。ハローワーク担当者と少しでも参加者が多くなるように協力して取り組んだが、有効求人倍率が増加し、雇用情勢が上向きと言われる昨今はハローワーク全体でも来所者が少なくなっていると聞いている。介護分野に特化した定例の面接会は唯一であるため、今後も、ハローワークと連携して参加者を増やしていきたい。
- 02 町田市社協「福祉のしごと相談会」に協力、後援し、採用機会の確保に努めた。昨年度より約9名多い93名の参加者数であった。町田市内での就活として考えていくと、高齢者分野に限らず行えることで参加者は多かったかと思う。ハローワークとの共催という点からも求職活動の一環として来場した参加者もあったと考える。東京都社会福祉協議会への協力として実施していることから、案内は都内全域にされており、町田市以外からの参加もあったと考えると少なかったと考えられる。都内全域でも介護職員の求職者が少ないことが伺える。
- 03 学生向けの就活フェアを実施し、次世代を担う人材の確保に努めた。参加法人は13法人と例年と変わらず多かったが、参加した学生は14名と昨年より2名減となった。参加法人からは参加者数を増やすような取り組みへの要望があったが、学校からの情報では求人が多いことや自宅近くでの就職希望者がほとんどで、学校の近隣での就職に必ずしも結びついていないことが分かる。学生が直接、法人の職員と話ができる機会として有効性はあると考える。過去の反省を踏まえて、学校からの提案により開催時期を平日に見直し、町田市広報での周知、学校への数回の訪問、ホームページ、フェイスブックなどで掲載・案内などを実施したが、学生の参加人数は増えなかった。

改めて今年度のアンケート等から出ている広報活動を参加法人や会員法人の協力を得ながら参加に結びつけられるように考えていきたい。開催曜日なども検討し、講話やイベントを入れるなどの内容の工夫をし、来場に結び付けられるように、来年度の開催に向けて準備していきたい。

- 04 市民向け介護技術講習会を継続し、家族介護者の基礎介護技術習得、介護や認知症への理解を深めるとともに、介護の仕事に関心を持つ参加者への就職支援、現任職員への基礎介護技術の学び直しの機会となった。参加者数は昨年度より1名増になったが昨年度は雪で一度中止にしており、平均にすると減となった。市民の参加も常に約半数あり、市民から一定の要望を得ている講習会である。
- 05 学校での特別授業では専門学校と高校の2校で実施。専門学校では卒業生が講師として、高校では介護老人福祉施設と介護老人保健施設の介護職員（経験者）が講師として、現状と将来に向けて学生とディスカッションできたことで参加した学生が対象者とのコミュニケーションの取り方などを学ぶ機会となった。また、将来に向けたイメージが持てたと好評であった。それぞれの内容や進め方に違いは出たが、学校側からの目的に沿った進め方ができたと考える。2回とも学生から好評を得られたこともあり、2校に限らず、特別授業を行う学校を広げていくことも今後の介護の担い手たちの道筋をつけていく上で必要であると考えます。
- 06 町田市内で開講する介護職員初任者研修の情報提供を年6回実施。これを見て受講した方もあった。昨年度より2回多く更新できた。
- 07 町田市内養成校卒業生就職状況調査を実施。市内大学・専門学校など6校に依頼し、全学校の回答を得る。2016年度卒業生の合計は2,596名。全体で介護福祉施設に就職した学生は164名であった。そのうち、町田市内の介護福祉施設に就職した学生は24名で介護施設に就職した学生（164名）の14.6%であった。市内から通学している学生ばかりではないため、自宅近くで就職を希望する傾向や、福祉専門分野の学生だけの集計ではないことにより低い数字が出たと考える。介護職員不足を補っていくには、専門分野の学生にとらわれず、様々な分野で学んでいる学生に一人でも多く、興味を持ってもらえるような働きかけが必要である。
- 08 町田市介護保険事業所介護職員雇用動向基礎調査を実施。介護職員がいる対象事業所326事業所に対して148事業所から回答があり、回答率は45.4%であった。その中で、介護を担う職員では非正規職員の割合が高く、そのうち、訪問介護員では8割以上、介護職員では6割弱が非正規職員であった。訪問介護員では79%強、介護職員では64%強が不足状況にあると回答しており、訪問介護員、介護職員ともに慢性的な不足状況にあることが伺えた。今回の調査では介護職員の定着率は76%と昨年度と変わっていなかった。当センターの研修に参加している事業所は53%（昨年度64%）と低かったがその中でも87%（昨年度84%）が「職員の質の向上になった」と回答していることから、当センターにおける事業が評価されていると考える。しかし、回答率が45.4%（昨年度34%）と依然低いことから参考評価にとどめ、更なる事業の展開、あり方を検討する必要がある。
- 09 町田市内外国人介護職員雇用促進検討会を設置し、検討会を年2回実施した。今後は雇用された外国人の動向などから就労定着に向けた働きかけを検討していく必要がある。外国人介護職員の雇用状況については雇用動向基礎調査の中で継続して、その

動向を把握し、必要時には関係する機関との連携した取り組みを検討していくこととする。故に検討委員会としては今年度をもって廃止し、理事会での継続審議としていくこととする。

- 10 「介護者のための公開講座」は人材育成事業の「依存症へのチームケア」に統合し、精神疾患病棟のドクターを迎え、市民公開講座として実施した。市民も参加してのパネルディスカッション、質疑応答なども行った。
- 11 介護人材バンクでは有料職業紹介を開始し、周知活動に力を入れてきた。その一環として講演会や求職相談登録会を実施した。求職登録者数は4名、そのうち仕事を紹介し就労に至ったのは2名であった。

(2) 人材育成事業

- 12・13・14 町田市介護保険課共催研修として「法令遵守研修」を各連絡会別に実施。合計で5回、延べ362名の参加を得た。昨年度は5回実施し、延べ275名の参加であったが、今年度約90名の増となった。「相談援助研修」では「初級編」延べ109名、「上級編」256名の参加を得た。昨年度よりも延べ約100名の増であった。双方の研修で定員を上回ることができた。主任ケアマネジャー推薦要件研修の位置づけであったことも参加者数増の一因と考えるが各職種で相談技術の向上を目的にした参加者も多くなっている。「法令遵守研修」は各連絡会によって参加人数にばらつきがあるが、プランニングを担当する支援センター・ケアマネジャーに対しては基本的にはどの研修にも参加を呼びかけて、各事業職種の理解を深めていくための研修とも位置づけている。多職種・同職種の連携を作っていく場としても、研修会は必要である。市内各事業所が適正なサービスを提供していくためにも、今後も町田市と連携して実施していく必要がある。「地域包括ケアシステム」をより意識し、医療職などとも連携した「法令遵守」研修も検討が必要と考える。
- 15・16 町田市高齢者福祉課共催研修として「高齢者支援センター職員向け虐待研修、権利擁護研修」を実施。延べ190名が参加し、昨年度より約60名の増となった。これは権利擁護事業の必要性や制度を理解していきたいと考える事業所が増加したことによると考える。また、難しいケースが年々増えてきていることと質の向上を目指す参加者も増えたのではないかと考えられる。「権利擁護」というテーマで年1シリーズ実施。前回と同様、続けて2月から5月に違うテーマで行うことにより、より深く学ぶことができると考えている。実際にあった困難事例で学ぶことが出来たことや多くの人に関わり、ケア会議で役割を決めていくことで、スムーズに運べたという点、またインフォーマルの役割なども学べた。事例を交えながら、地域権利擁護事業のイメージができた。社会福祉協議会のサポート範囲等色々な情報も提供できた。地域で活躍する専門職のレベルアップをしていく上では継続していくべき研修であると考えている。参加者からも高評価を得ている。同じ内容で毎年実施するよりは2年に一度の回数で実施することで参加者も増えていると考える。「虐待防止」は介護保険事業所では必須内容であり、今後も継続していきたい。
- 17 「施設職員研修」では入所施設における「虐待防止」をテーマとして実施。昨年度は高齢者福祉課主催として4カ所出張研修を実施したが、今年度はそれを引き継ぎながら1回の集合型研修とし70名の参加を得た。

- 18 「新任職員研修」には23名が参加。昨年度より16名減であった。新入職員の減少と日常業務での介護職員確保のために研修への参加が難しくなったと考えられる。
- 19 「ケアリーダー育成研修」では延べ45名の参加があり、昨年度より延べ15名減となった。定員90名に対して5割減となった。研修に出しづらい現場の環境があることが原因の一因になっていると考える。
- 20・21 「リスクマネジメント研修・事故から学ぶ原因分析と再発防止」は延べ29名参加。昨年度より13名減となった。定員30名の3日間であることから約3割の参加率にとどまった。管理監督職向けに実施した「事業所におけるリスクマネジメント研修」は定員20名のところ8名の参加であった。介護の仕事に限らず、仕事にリスクは常にあるものであり、リスクを知りその影響を最小限にすることで、事故や苦情などが減る。そのリスクに最大限気付くことが大切であり、気づいたことで防いでいくものであると考える。その気付きを得ることを目的として実施しており、リスク管理をしていく上で継続が必要である。
- 22 「ファシリテーター養成研修」では3回延べ45名が参加。昨年度より5名減となった。昨年度は夜間で2回実施していたが、今年度は日中で3回実施。昨年までとは違うテーマで「ファシリテーターの役割」を学ぶ研修を実施。今年度は医療関係職との連携に特化した内容としたことは、介護出身の相談職が多いことを考えると良い研修になったと考える。チームケアを考えていく上では、技術力を上げていかなければならない研修であり、継続していくことが必要と考える。
- 23 「摂食・嚥下の基礎とリハビリテーション」は初めて「言語聴覚士」を講師に迎え実施したことにより、歯科衛生士やセラピストの参加も得られた。施設職員として「誤嚥」を防止しておくことは必須であり、日常から防止ができることを学べた今回の研修は施設にとっても意義があるものとする。今後、新規の採用など含めても「嚥下機能」「誤嚥防止」は介護職員の資質の向上でも必要と考える。定期的にまでは行かないが、随時開催することが必要と考える。
- 24 「依存症へのチームケア」は市民公開講座として精神科医師の基調講演と専門職による「高齢者の依存症と向き合いましょう」をテーマとしたパネルディスカッションで実施。市民と専門職で48名の参加が得られた。人材確保事業「10介護者のための公開講座」と統合して開催した。身近にある「依存」をテーマにしたことで市民の参加も得ることができた。主テーマは「アルコール」になったが、「ギャンブル」「共依存」などについて聞きたいとの要望もあり、今後も「依存」をテーマとした講演なども検討していくことが必要と考える。
- 25 「介護福祉士国家試験対策講座」筆記編は制度の改正もあり参加者10名であった。昨年度は9名であった。介護職員にとって受験勉強は大変なことであり、要点を学ぶ機会が必要と思われるので、この講座は継続して開催し、一人でも多くの職員が介護福祉士となれるよう受験講座を行うことは受験対策としてだけでなく、先輩介護福祉士からの指導を受ける機会にもなっており、実際の業務にも生かされると考える。毎年、合格の報告を受けており、今後も一人でも多くの国家資格取得者が介護の仕事を継続していくために意義があるとする。
- 26 出張研修は7団体から9講座「マナー・接遇講座」「社会福祉法人の管理職を対象にしたリーダー研修」「アクティビティの考え方」「グリーンケアの実践に向けて～死生

観の理解と個別ケアの推進～」等メニューも増え196名の参加が得られた。

- 27 「アクティブ福祉 in 町田」は11年目を迎え「町田市医療・介護・福祉研究発表大会」として、22題の発表題数で実施した。参加者数は554名と昨年度より約120名の増であった。福祉用具の展示を再開し、介護人材バンクの求職相談登録会を初めて実施した。

(3) 就労継続支援事業

- 28 「メンタルヘルス研修」は初めて町田市保健所と共催し、公開講座として実施。専門職44名の参加が得られた。就労を継続していくためにはセルフケアはもちろん職場でのラインケアもますます求められる。今後も必要に応じて保健所などと連携していきたい。
- 29 「職場の人間関係の在り方～交流分析を通して」は、14名の参加。昨年度は21名の参加で7名減であった。人間関係に悩む職員は少なからずいるので、一人でも多くの方が町田で継続して働けるように定着支援の一環として必要な研修である。

(4) アクティブシニア人材バンク事業

- 30 アクティブシニア介護人材バンク事業を開始し2年度目にあたり、新たな研修参加者、求職登録者の増加や就労先介護施設の拡大を目指して実施した。また、就労者の定着を図るため、丁寧なマッチングやヒアリング、フォローアップに重点を置いて実施した。

- ① 研修・就労相談事業では、介護の仕事を支える基礎知識を学ぶ「初級研修」(6回、参加者数79名)をより受講しやすくするために昨年度より1回増やし、隔月(奇数月)に毎回同会場で実施した。1回あたりの参加者数は10名以上であるが、今後は、より身近で受講できるように各地域での開催を検討していきたい。また、昨年度より実施している施設見学・事業所説明会は、開催の希望についてアンケートを実施し準備を進めたが、マッチング時や面接時に個別に見学することが多くなった。その結果、実施形態が集合型から個別型に移行したため、今年度は2施設・参加者数9名となり、そのうち2名が就労に至った。
- ② アクティブシニア介護人材バンク事業では、2017年2月にアクティブシニア介護人材バンクを開設し、今年度は年度当初から求職登録、職業紹介を行うことが可能となり、求職登録者の増加に取り組んだ。開設以前に初級研修を受講した参加者に対しては通信や電話での状況確認時に求職登録の案内を行ったことにより、4月～7月の登録者増につながることができ、120名の求職登録者数となった。職業紹介に際してはヒアリングを重視し、丁寧なマッチングに努め28名が就労に至った。また、周知が進んだことにより求人状況は148名と前年度(59名)より大幅に増加した。
- ③ 就労支援事業では、今年度初めてフォローアップ研修を実施した。就労者や就労を希望するアクティブシニアが、仕事へのモチベーションを高め、介護の仕事に役立つ知識を得ることを目的とし、3つのテーマで3回実施し67名が参加した。研修への参加を通して情報提供、意見交換を行う機会ともなった。また、就労後1～3ヶ月を経過した就労者28名に訪問(電話)によるインタビューを実施した。

- ④ アクティブシニア通信第4～7号を発行し、研修の案内、就労者へのインタビュー、求人情報等を記事として掲載し、情報提供の充実を図った。
- ⑤ ホームページを一新し、就労までの詳細や就労者へのインタビュー、求人情報を掲載するなどさらなる周知とコンテンツの充実を図った。

(5) 受託事業

31 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト事務局事務委託事業

定例協議会 年4回、研修会 年2回を事務局事務として町田市担当部署の高齢者福祉課と連携した。協議会開催に係る連絡調整、事務等、協議会に関する啓蒙活動（ホームページ、フェイスブック等）などを実施

32 要介護認定調査業務

年間件数：1373件受託

33 町田市認定調査員研修事務業務

- ・新規研修 年4回 新任調査員を対象とした研修を町田市役所にて実施。
延べ56名参加
- ・出張研修 年4回
テーマ「認定調査の基本的な考え方」「模擬審査会～伝わる特記事項の書き方～」に、かたくりの里とヴィラ町田で実施。延べ43名参加
テーマ「間違いやすい選択と分かりやすい特記事項」に、南市民センター、鶴川市民センターで実施。延べ45名参加
- ・内部研修 年5回 町田市調査員、事務受託法人の認定調査員向けの研修を町田市役所にて実施。延べ151名参加
- ・現任研修 年1回 町田市内の全受託法人の認定調査員向け研修として「認定審査員から見た分かりやすい調査票の書き方」をテーマとし健康福祉会館とTV中継で実施。延べ237名参加

34 総合支援事業研修「まちいきヘルパー養成研修」

1回20時間コース（1日5時間を4日間）の研修を2回実施した。事業所へのアンケートより事業所が雇用を希望するまちいきヘルパーの人数が86名であったことから定員を各40名（計80名）に決定し、受講者を募集したところ81名の応募があり、67名（内2名は2016年度受講生の補講修了者）が修了した。「まちいきヘルパー」として年間37名が就労に至った。

(6) ネットワーク促進事業

- 35～39 会員総会、理事会、運営員会、ネットワークサポート委員会は適宜実施した。委員会（38）は今年度設置しなかった。
- 40・41 町田市高齢者福祉施設部会、生活相談員連絡会では、事務局として、特養の特例入所指針見直しや医療処置対応一覧作成等に取り組んだ。
- 42 町田市通所事業所連絡会では、事務局として、連絡会活動の支援や事業所プロフィールシートの取りまとめ、各部会の調整や部会実施に取り組んだ。
- 43 町田市福祉用具事業所連絡会では、研修やケアマネジャーとの連携などを事務局として支援した。連絡会として「アクティブ福祉 in 町田」に参加し、福祉用具の展示を

行った。また「住宅改修研修会」での貸し出しに協力した。

- 44 町田市訪問看護ステーション連絡会では、連絡会主催の研修等を事務局として支援した。また、情報誌などの取りまとめも実施した。
- 45 町田市特定施設事業所連絡会では、連絡会主催の研修等を事務局として支援した。
- 46・47 医療研修は他団体に提案したが実施に至らなかった。
- 48 多職種連携研修会の企画は要望がなく実施に至らなかった。
- 49 「会員交流会」を開催し、顔の見える関係づくり、情報交換を行った。
- 50 TV会議システムの活用は、町プロでのTV中継などを実施した。
- 51 「介護カフェ・医療介護義塾まちけあ」は介護職員の定着支援としてスタートしたが、ネットワーク事業に変更し、参加者の自主的な活動を支援し、参加者自らが研修を企画・運営し、幹事会を年8回、研修会を3回、懇親会を実施した。
- 52 「サ責カフェ」は定着支援としてスタートしたが、ネットワーク事業に変更し、当法人代表理事が主体となり、有識者から現場の方まで職種を超えて広く参加者とともに、「町田市推奨版 訪問介護計画書」の書き方の勉強会を継続して実施するとともに総合事業についての情報・意見交換を行った。
- 53 一般社団法人グランハートからの公開講座等は、「健康カレッジ」で介護人材バンク、アクティブシニア介護人材バンクの紹介を行った。
- 54・55 会員事業所への情報提供では、会員や行政、医療機関、関係団体等の情報をメールで随時配信した。「まちカフェ」に出展し市民向けの講習会や介護人材バンクの紹介を行った。また、SNSを通じたセンター事業の紹介、広報誌の作成、ホームページのリニューアルを行った。
- 56 町田市内医療・介護関係事業所における事業種別等の「連絡会」との連携の強化に継続して取り組み、組織化への支援として町田市訪問マッサージ連絡会に適宜、参加し活動の支援を行った。また、町田市や町田市社会福祉協議会等の外部委員会への推薦委員派遣を通して、行政等への提案や地域の高齢者福祉サービスの向上に取り組んだ。

※ 各事業の詳細は、別紙「2017年度町田市介護人材開発センター事業報告・参加者数」参照

【会員団体事務局】

- ・町田市高齢者福祉施設部会－生活相談員連絡会
- ・町田市通所事業所連絡会
- ・町田市福祉用具事業所連絡会
- ・町田市訪問看護ステーション連絡会
- ・町田市特定施設事業所連絡会

【運営委員会・委員推薦団体】

- ・町田市高齢者福祉施設部会
- ・町田市介護老人保健施設
- ・町田市ケアマネジャー連絡会
- ・町田市通所事業所連絡会

- ・町田市訪問介護事業者協議会
- ・町田市グループホーム連絡会
- ・町田市訪問看護ステーション連絡会
- ・町田市社会福祉協議会
- ・町田社会福祉士会
- ・東京都介護福祉士会町田ブロック会
- ・町田市福祉用具事業所連絡会
- ・町田市特定施設事業所連絡会
- ・町田市訪問マッサージ連絡会

【推薦委員を派遣している外部委員会】

1	町田市高齢社会総合計画審議会	尾和瀬 久展（芙蓉園）
2	町田市地域密着型サービス運営委員会	吉田 美香（清風園）
3	町田市高齢者支援センター運営協議会	小室 貴之（楓の風）
4	町田市介護保険苦情相談調整会議・介護苦情解決専門員	折原 太（まちだ正吉苑）
5	町田市高齢者虐待防止連絡協議会	佐々木 修（椿）
6	町田市老人ホーム入所判定委員会	田中善美（合掌苑） 北川達三（第二清風園）
7	町田市中学生職場体験推進協議会	多田 周史
8	町田市男女平等参画協議会	石原 正義
9	町田市社会福祉協議会評議員	多田 周史
10	町田市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会	藤田 康子（友愛荘）
11	町田市社会福祉協議会共同募金配分推薦委員会	小林 清子（ヴィラ町田）
12	町田市支えあい連絡会（生活支援コーディネーター）	石原 正義

2017年度町田市介護人材開発センター事業報告・参加者数

2018年3月31日現在

事業種別	内容(対象・回数・時間・定員・会場)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度実績		
人材発掘事業	01 介護・福祉ミニ面接会(共催)	ハローワーク町田・相模原/生子の共催 高齢者福祉への就労を希望 関心を持っている求職者対象 ※(1)回 9:30~12:00 7法人/回 ハローワーク町田 (2)回は採用実績	4/19 12(4)	5/17 22(3)	6/21 19(3)	7/19 17(5)	8/5 93	9/20 17(0)	10/18 15(1)	11/15 9(0)	12/20 13(1)	1/17 15(5)	2/21 12(3)	3/22 12(5)	163(30)	184(32)	
	02 地域密着型就職面接会(協力)	町田市社会福祉協議会 東京都福祉人材センター主催 町田市内の福祉職場での就職を希望する方 年1回 12:00~16:00 町田市文化交流センター		5/10 14											93	84	
	03 ふくしのしごと就活フェアin町田	介護福祉職を目指す学生対象 年1回 12:30~16:30 町田市文化交流センター		5/10 14											14	16	
	04 市民向け介護技術講習会(基礎編)	市民、事業所職員対象 年3回 13:00~17:00 清風園、いつみの里、桜実会 講師:東京都介護福祉士会町田ブロック			6/4 31			9/3 18				1/21 22				71	70
	05 学校での特別事業	年2回~希望する学校 町田福祉医療専門学校、東京都立野津田高等学校 講師:町田市内介護施設職員				7/4 50								3/20 31	81	95	
	10 介護のための公開講座	年1回 13:30~16:30 定員:30名													0	13	
	介護保険課共催	11 介護人材バンク	①町田市介護人材バンク講演・相談会 年1回 13:00~16:30 町田市文化交流センター ②介護の仕事相談・求職登録会(アクトアップ福祉in町田)				7/13 31			11/8 6					37	(5回実施)	
		法令遵守	12 法令遵守・運営基準・法改正研修 介護保険課共催 主に在宅サービスに携わる介護保険事業所職員対象 年5回(居宅介護支援、訪問介護、通所介護、福祉用具、特定施設事業所)								12/11 15				(5回実施)	275	
		相談援助	13 相談援助研修(初級編) 介護保険課共催 年3回 14:00~16:00 定員:25名/回 グランハート町田 佐藤ちよみ氏(対人援助スキルアップ研究所 所長)												109	-	
		相談援助	14 相談援助研修(上級編) 介護保険課共催(主任ケアマネ推薦案件研修) 年5回 13:30~17:00 定員:50名 健康福祉会館 堀越由紀子氏(東海大学教授)			6/20 50	7/25 50	8/28 51	9/25 49	10/23 51					251	153	
	高齢者福祉課共催	支援センター	15 高齢者支援センター職員研修①虐待対応 高齢者福祉課共催 年1回 18:30~20:30 定員:50名 町田市健康福祉会館 川端伸子氏(公益社団法人あい・権利擁護支援ネット 理事)											3/5 84	84	67	
		施設職員	16 高齢者支援センター職員研修②権利擁護 高齢者福祉課共催 年1回 18:30~20:30 定員:50名 町田市健康福祉会館 町田市社会福祉協議会 町田市内関係者										2/27 106		106	59	
		施設職員	17 施設職員研修 高齢者福祉課共催 年1回 18:30~20:30 定員:50名 町田市健康福祉会館 貝塚誠一郎氏(貝塚ケアサービス研究所代表)							11/24 70					70	-	
	分野・領域別	基礎知識・技術	18 新任職員研修 年1回 9:30~16:30 定員:30名 グランハート町田 雷田静江氏、大貫祐子氏、梶原祥子氏(法人代表理事、大妻女子大学名誉教授)	4/20 23											23	39	
		リーダー育成	19 ケアリーダー育成研修 全4回 10:00~17:00 定員:20名 グランハート町田 梶原祥子氏(法人代表理事、大妻女子大学名誉教授) 宮崎新子氏(あくぬく 歯科医院(歯科衛生士)) 藤井淳氏(リノーム 薬局管理薬剤師) 水見直明氏(多摩田職能理学療法士)		5/18 12		7/20 11	9/7 11		11/8 11					45	60	

事業種別	内容(対象・回数・時間・定員・会場)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度実績
リスクマネジメント	20 事故から学ぶ原因分析と再発防止 全3回 13:30~17:30 定員:30名 グランハート町田 貝塚誠一郎氏(貝塚ケアサービス研究所代表)		5/29 10	6/30 10	7/31 9									29	42
	21 事業所におけるリスクマネジメント 年1回 18:30~20:30 定員:20名 グランハート町田 貝塚誠一郎氏(貝塚ケアサービス研究所代表)							10/13 8							8
多職種連携	22 ファシリテーター養成研修 全3回 14:00~16:30定員:20名 グランハート町田 小嶋良子氏(介護福祉士会理事)		5/23 15	6/12 15	7/5 15									45	50
	23 摂食・嚥下の基礎とリハビリテーション 年1回 18:30~20:30 定員:30名 グランハート町田 黒瀬子氏(多摩丘陵病院リハビリテーション技術部副部長、科長)													3/8 27	27
多職種連携	24 依存症へのチームケア 年1回 14:00~16:00 定員:100名 町田市健康福祉会館 岡田泉氏、勝島秀夫氏、田邊貴幸氏(医療法人社団新光会 生田病 院)、具志堅美子氏(鶴川除2高齢者支援センター)、長谷川昌之 氏(医療と介護の連携センター)、新居田大祐氏(まちな正吉苑)												3/15 48	48	-
	25 介護福祉士国家試験直前講座 筆記編 年1回 13:30~17:30 定員:20名 グランハート町田 是枝祥子氏(法人代表理事、大妻女子大学名誉教授)、上静子氏 (東京都介護福祉士会町田ブロック会会員)								11/25 10						10
講師派遣	26 出張訪問研修 6法人10講座 是枝祥子氏、雷田静江氏、他登録講師等			6/26,27 54			9/4,14,20 78	10/11, 18 31	11/22,27 33					196	49
	27 アクティブ福祉in町田'17 年1回 11:00~18:00 町田市文化交流センター 研究発表大会・介護用品・福祉用具展示PRコーナー、人材バンク 求職相談会									11/8 554					554
メンタルヘルス	28 メンタルヘルス研修 保健所共催 年1回 13:30~15:15 定員:100名 健康福祉会館 山田御蔭氏(東京都立多摩総合精神保健福祉センター)										1/17 44			44	8
	29 職場の人間関係の在り方〜交流分析を通して 年1回 18:30~20:30 定員:20名 グランハート町田 佐藤ちよみ氏(対人援助スキルアップ研究所 所長)							9/12 14							14
自己啓発	初級研修 年6回 13:30~17:00 定員:30名/回 町田市民フォーラム 瀧藤信子氏(元田園調布学園大学准教授、社会福祉法人らっく理 事) 沼田裕樹氏(日本社会事業大学非常勤講師、法人理事) 是枝祥子氏(法人代表理事、大妻女子大学名誉教授)		5/24 14		7/26 15				11/15 11		1/24 9			79	180
	施設見学・説明会 随時開催 ①たんらんの家 町田木曾 8/10 ②福音会(福音の家、まちだケアセンター、町田愛信園) 12/13 フォローアップ研修 年3回 14:00~17:00 定員:30名/回 町田市文化交流センター他 ①山田隆司氏(やまだ社会保険労務士事務所所長) ②小林利紀子氏(社会福祉法人責責会 第二清風園 副施設長・保 健師) ③是枝祥子氏(法人代表理事、大妻女子大学名誉教授)						8/10 3			12/13 6					9
30 アクティブシニア介護人材バンク事業							9/28 14		11/28 28			2/28 25		67	-

※アクティブ福祉in町田のみ参加者総数、その他は参加実人数です。

2017年度収支報告書(案)(総括表)
自:2017年4月1日 至:2018年3月31日

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

《収入の部》

大区分	中区分	決算額	予算額	差額	備考
町田市補助金収入		20,000,000	20,000,000	0	
センター事業収入	参加費収入	1,821,000	2,102,500	△ 281,500	研修などの参加費(資料代含む)
	広告料収入	330,000	400,000	△ 70,000	アクティブ福祉in町田 当日冊子への掲載
	手数料収入	434,252	900,000	△ 465,748	人材バンク職業紹介手数料
法人収入	会費収入	3,319,500	3,300,000	19,500	正会員会費:3,307,500円、賛助会員:12,000円
		2,500,000	2,600,000	△ 100,000	町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会事務局事務
	受託収入(町田市)	10,829,700	8,100,000	2,729,700	要介護認定調査業務
		1,387,500	1,387,500	0	町田市要介護認定調査員現任研修事務局事務
		4,000,000	4,000,000	0	まちいきへルパー養成研修業務
	その他事業収入	126,000	210,000	△ 84,000	TV会議システム貸出収入、冊子販売収入
	交流会参加費収入	1,040,000	500,000	540,000	大会交流会、多職種連携研修懇親会
	受取利息収入	78	0	78	受取利息
	受託事業振替収入	500,000	500,000	0	
	雑収入	1,000	0	1,000	
収入計①		46,289,030	44,000,000	2,289,030	

《支出の部》

大区分	中区分	決算額	予算額	差額	備考
管理費支出		175,675	200,000	△ 24,325	役員報酬等
事業費支出		41,016,081	43,800,000	△ 2,783,919	
	人材確保事業費	3,279,499	5,285,200	△ 2,005,701	面接会、就活フェア、介護技術講習会、調査
	人材育成事業費	6,102,184	7,909,600	△ 1,807,416	研修、アクティブ福祉in町田
	就労継続支援事業費	149,248	207,700	△ 58,452	メンタルヘルス研修
	アクティブシニア人材バンク事業	9,853,916	10,000,000	△ 146,084	総事業費には投資活動支出(什器備品)を含まない
	ネットワーク促進事業費	5,037,980	4,310,000	727,980	ネットワーク促進活動費等(会員交流会含む)
	受託事業費	16,093,254	15,587,500	505,754	町田市受託業務
	ネットワーク促進事業振替支出	500,000	500,000	0	
支出計②		41,191,756	44,000,000	△ 2,808,244	
予備費③		0	0	0	
投資活動支出④		730,960	0	730,960	
	設備造作		0	0	
	什器備品	390,960	0	390,960	(内訳)PC2台
	敷金支出	340,000	0	340,000	山崎事務所分前払敷金
当期収支差額①-(②+③+④)		4,366,314	0	4,366,314	
前期繰越金		4,806,960		4,806,960	
次期繰越金		9,173,274		9,173,274	

※参考(事務局経費)

	決算額	予算額	差額	備考
人件費	26,207,577	27,200,000	△ 992,423	常勤3名、嘱託1名、非常勤21名(3月末付)
経費	8,993,768	3,530,924	5,462,844	
合計	35,201,345	30,730,924	4,470,421	

決 算 報 告 書

(第 6 期)

自 平成 29 年 4 月 1 日
至 平成 30 年 3 月 31 日

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

正味財産増減計算書

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
会費収入	3,319,500	3,221,700	97,800
正会員受取会費	3,307,500	3,216,700	90,800
賛助会員受取会費	12,000	5,000	7,000
事業収入	22,468,452	15,673,750	6,794,702
参加費収益	2,861,000	3,007,500	△146,500
広告費収益	330,000	155,000	175,000
町田市受託収益	18,717,200	12,396,250	6,320,950
その他事業収益	126,000	115,000	11,000
手数料収益	434,252		434,252
受取補助金等	20,000,000	20,000,000	0
受取地方公共団体補助金	20,000,000	20,000,000	
雑収益	1,078	77,169	△76,091
受取利息	78	634	△556
雑収益	1,000	76,535	△75,535
他会計からの繰入額	500,000	0	500,000
受託事業会計からの繰入額	500,000		500,000
經常収益計	46,289,030	38,972,619	7,316,411
經常費用			
事業費	38,932,511	32,594,608	6,337,903
給送料手当	22,634,041	17,531,435	5,102,606
通勤手当	900,710	604,901	295,809
福利厚生費	162,452	67,018	95,434
旅費	14,990	52,831	△37,841
通信搬送費	1,100,016	969,967	130,049
消耗什器備品費	258,865		258,865
消耗品費	351,757	1,837,204	△1,485,447
広告宣伝費	493,112	742,781	△249,669
印刷製本費	1,380,543	1,314,665	65,878
保険料	9,920	8,680	1,240
光熱水料	308,352	193,869	114,483
賃借料	4,365,132	3,250,228	1,114,904
会場借上費	601,952	501,436	100,516
諸謝金	1,567,596	1,189,858	377,738
租税公課	5,000	144,150	△139,150
法定福利費	2,510,374	2,083,874	426,500
車両託費	272,385	294,339	△21,954
雑費	747,436	759,858	△12,422
雑費	1,247,878	1,047,514	200,364
管理費	1,964,574	3,162,931	△1,198,357
役員報酬	175,675	131,135	44,540
会議交通費	73,025	44,862	28,163
旅費		64,604	△64,604
通信搬送費	175,192	367,162	△191,970
減価償却費	718,629	950,948	△232,319
消耗品費		390	△390
賃借料	31,922	311,260	△279,338
会場借上費	17,580	38,300	△20,720
租税公課	11,200	44,200	△33,000
寄附金		10,000	△10,000
諸費	49,000		49,000
雑費	712,351	1,200,070	△487,719

正味財産増減計算書

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
他会計への繰出額	500,000	0	500,000
ネットワーク会計への繰出額	500,000		500,000
経常費用計	41,397,085	35,757,539	5,639,546
評価損益等調整前当期経常増減額	4,891,945	3,215,080	1,676,865
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	4,891,945	3,215,080	1,676,865
経常外増減の部			
経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	4,891,945	3,215,080	1,676,865
法人税、住民税及び事業税	513,300	356,200	157,100
当期一般正味財産増減額	4,378,645	2,858,880	1,519,765
一般正味財産期首残高	6,260,122	3,401,242	2,858,880
一般正味財産期末残高	10,638,767	6,260,122	4,378,645
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	10,638,767	6,260,122	4,378,645

貸 借 対 照 表

平成 30 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
流 動 資 産			
現 金 預 金	10,115,866	5,075,875	5,039,991
現 金	86,018	47,379	38,639
普 通 預 金	10,029,848	5,028,496	5,001,352
未 収 金	2,618,117	1,702,150	915,967
前 払 金	322,465	248,678	73,787
仮 払 金	158	158	158
流 動 資 産 合 計	13,056,606	7,026,703	6,029,903
固 定 資 産			
そ の 他 固 定 資 産			
設 備 造 作	114,093	186,424	△72,331
什 器 備 品	356,600	611,938	△255,338
数 金	984,800	644,800	340,000
保 証 金	10,000	10,000	-
そ の 他 固 定 資 産 合 計	1,465,493	1,453,162	12,331
固 定 資 産 合 計	1,465,493	1,453,162	12,331
資 産 合 計	14,522,099	8,479,865	6,042,234
II 負 債 の 部			
流 動 負 債			
未 払 金	2,260,703	954,797	1,305,906
前 受 金	1,065,600	821,700	243,900
預 り 金	43,729	87,046	△43,317
未 払 法 人 税 等	513,300	356,200	157,100
流 動 負 債 合 計	3,883,332	2,219,743	1,663,589
負 債 合 計	3,883,332	2,219,743	1,663,589
III 正 味 財 産 の 部			
一 般 正 味 財 産	10,638,767	6,260,122	4,378,645
正 味 財 産 合 計	10,638,767	6,260,122	4,378,645
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	14,522,099	8,479,865	6,042,234

財 産 目 録

平成 30 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

事業名：事業全体

(単位： 円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流 動 資 産)			
現普通預金	手元保管 ゆうちょ銀行	運転資金として	86,018
	八千代銀行	運転資金として	6,503,300
		運転資金として	3,526,548
未収金	受託費	町田市 認定調査3月分他	2,618,117
未払金	4月分家賃、共益費	家賃、会場代、広告掲載費	322,465
立替金	会費	研修懇親会費の立替	
仮払金	未精算分	仮払精算分残	158
流動資産合計			13,056,606
(固 定 資 産)			
その他固定資産			
設備造作品	パーティション	人材バンクで使用	114,093
什器備	システムサーバー他	管理業務で使用している	356,600
敷金	原町113-14-1.山崎	事務所	984,800
保証金	新宿屋ビル(株)	駐車場リモートコントロール保証金	10,000
固定資産合計			1,465,493
資産合計			14,522,099
(流 動 負 債)			
未払金	パソコン他	3月分経費の未払分	2,260,703
前受金	次年度会費収入	ネットワーク促進事業の会費	1,065,600
預り金	源泉所得税預金	源泉所得税、社会保険料納付分	43,729
未払法人税等	法人税都民税市民税	町田税務署、町田市役所、県税事務	513,300
流動負債合計			3,883,332
負債合計			3,883,332
正味財産			10,638,767

財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク
事業名：事業全体

1. 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年12月1日 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法（ただし、建物附属設備は定額法）を採用しています。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	2,047,458	1,690,858	356,600
建物附属設備	216,561	102,468	114,093
合 計	2,264,019	1,793,326	470,693

2017年度監査報告書

2018年 5月 28日

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク
代表理事 是枝 祥子 殿

監事 谷 和久

監事 諫 山 英一

1. 監査の実施概要

定款第25条に基づき、一般社団法人町田市介護サービスネットワークの2017年度（監査対象期間、2017年4月1日～2018年3月31日）の会計の状況について監査を行いました。

監査日時 2018年 5月 28日（月） 17:00～18:00
監査場所 グランハート町田 レンタルルームトマト

2. 監査意見

収支決算書、貸借対照表、及び関係書類について監査した結果、その内容が適正であると認めます。

以上の通り報告致します。

第3号議案

第4期役員体制（案）

<基本方針>

法人発足から6年が経過し、サービス事業所を取り巻く介護職等の人材確保が、一層困難になる中で、町田市との連携のもとでアクティブシニア介護人材バンク及び町田市介護人材バンクを立ち上げてきました。また総合事業を担うまちいきヘルパー養成にも取り組み、人材のすそ野を広げる事業にも取り組んできました。また、「町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会」（以下、「町プロ」という）の事務局一部事務委託を継続し、医療と介護との多職種連携の促進に努めてまいりました。経営の安定化のためには、要介護認定訪問調査委託事業を拡大する等収入増に取り組んできました。しかし、人材確保だけではなく、定着化においても厳しい状況が続いており、本法人としても一層の取り組みが期待されています。

第4期は、第7期町田市介護保険事業計画の重点課題の一つである、介護職等の人材確保及び定着化に取り組み、事業の継続性を図ること、ネットワーク強化を図ることを基本方針として、役員は継続して職務に精励していただくこととしました。

今後の環境の変化に迅速に対応し、役員が一丸となってさらなる事業経営に参画する体制が、会員利益を通して市民福祉の向上に寄与するものと確信し、第4期の役員候補者については、以下のとおり提案します。

<第4期役員候補者案>

敬称略

役員名	氏名	区分	所属等
理事	是枝 祥子	再任	大妻女子大学名誉教授
理事	多田 周史	再任	(社福) 芙蓉会 法人本部事務局
理事	鶴田 尚子	再任	(社福) 福音会 町田愛信園施設長
理事	奥山 孝	再任	町田市いきいき生活部部長
理事	五十子桂祐	再任	町田市医師会理事地域医療福祉・町プロ担当 町田病院院長
理事	陶山 慎治	再任	(社福) 悠々会理事長
理事	吉田 美香	再任	(社福) 賛育会 清風園施設長
理事	沼田 裕樹	再任	日本社会事業大学非常勤講師
理事	井上 ノリ子	新任	元(NPO) 桜実会玉川学園高齢者在宅サービスセンター長、元町田市社会福祉協議会地域福祉推進室長
監事	谷 和久	再任	(社福) 町田市福祉サービス協会 小山田高齢者在宅サービスセンター長
監事	諫山 英一	再任	税理士法人いさやま会計 代表 税理士

※第4期任期は、2018年6月27日定時総会から2020年6月定時総会まで

第4号議案

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク定款の一部変更（案）について

<議案説明>

平成29年3月の会員総会において、非常勤役員が法人の業務上の必要により、法人の開催する会議等に出席する場合は、報酬として2,227円を支給するように「役員の報酬等及び費用に関する規程」の別表1の一部改定をご承認いただきました。しかしながら、役員の報酬について定めた定款第28条の変更を同時に行っていなかったため、定款との相違が生じていることが判明いたしました。そのため、この度現状に合致するように定款第28条の一部、「理事及び監事は無報酬とする。ただし、常勤の」を削除したく提案します。何卒、ご賢察のほどよろしくお願い申し上げます。

変更事項は以下の通りです。

(1) 一般社団法人町田市介護サービスネットワーク定款 変更（案）

条文		摘要
変更前	変更後	
<p>(報酬等)</p> <p>第28条 <u>理事及び監事は無報酬とする。ただし、常勤の</u>理事及び監事に対しては会員総会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、会員総会の決議を経て報酬、賞与その他の職務執行の対価として当法人から受けた財産上の利益（以下、「報酬等」という。）として支給することができる。</p>	<p>(報酬等)</p> <p>第28条 理事及び監事に対しては会員総会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、会員総会の決議を経て報酬、賞与その他の職務執行の対価として当法人から受けた財産上の利益（以下、「報酬等」という。）として支給することができる。</p> <p>附則 この定款は、平成30年6月27日から施行する。 定款第28条の変更</p>	<p>文言の削除</p> <p>附則の追加</p>

(2) 施行時期 平成30年6月27日